

大高緑地 猪根の森

いのねのもり
森づくり基本構想

都市近郊の公園緑地の森・草地・水辺は地域に残された【いきもの】の最後の住み家です。
人の利用を優先して施設が造られ、そこに取り残された公園内の緑地の森であっても、
生態系を意識した手入れや管理をすればそこに暮らす【いきもの】のための生存環境をつくることができます。

大高竹の会では活動場所を地名に由来する「猪根の森」と名付け、森づくりの指針をまとめました。元来、人が関わることで形成され生物の多様性を育む場所である里山林を自ら調査し、計画を立て、愛知県・管理事務所と合意を図りながら持続可能な生態系を保全していきます。身近な場所に【いきもの】がいること、自然の恵みを享受できることの大切さを考え、実践を通して人と自然が共生する現代の森・自然環境の価値を見出していくたいと思います。

三次林再生ゾーン

人が手を入れて生態系を守る明るい森に

●モウソウチク林再生区

健全な竹林の育生のために密度を管理している
美しく親しめる竹林です。
竹の活用(竹炭・竹工作など)に取り組んでいます。



●雑木林再生区

ナラ枯れ以前の明るいコナラ林に戻しています。



●メタセ広場

荒れていた竹ヤブに手を入れて林間の広場としました。
人がつどい自然とふれあえる空間です。



碧の森ゾーン

多様な森の姿を創る

●常緑照葉樹林保全区

常緑照葉樹林の姿を保つ場所です。



●マツ林再生区

- アカマツが生える明るい尾根の復活をめざします。
- 散策の途中に人がつどえる場所づくりに取り組みます。



●林床植生保全区

今では希少になった林床植生の生育環境の保全・回復に取り組みます。



ヤマザクラの巨木

チエリーロード(散策路)

●ヤマザクラの巨木の樹勢回復

周辺の動植物に配慮しながら花つきのよいサクラを育てていきます。
また散策者が自然を感じながら気持ちよく利用できる場所づくりに取り組みます。



私たちは里山保全と竹炭作りを愛知県・大高緑地管理事務所と協働している市民ボランティアです。

大高竹の会

活動に関心のある方、参加をお考えの方は大高緑地管理事務所にお問い合わせ下さい。

- 活動日 毎週木曜日
- 活動場所 猪根の森／ディキャンプ場 竹炭窯(愛竹窯)